

2011年 8月号
通巻 115号

発行所
岩手県盛岡市中央通3丁目8-16
電話019-651-0810
FAX019-653-1057
岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



被災同胞女性慰労会の一こま(7/9)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ korea-iwate@ictnet.ne.jp

被災地だより-復興への歩み

■7月12日、大槌・河元一さんが仮設住宅に入居。場所は国道45号・大槌入口の信号から西へ車で15分ほどの山間。生活するにはとても便利がいいとは言えない環境。しかし4ヶ月間の避難所生活にピリオドを打ち、生活再建への第1歩と前向きに考え、進んでいくとの事。当日、崔成守県本部委員長、姜副委員長らが引越しの手伝いと「お祝い」に駆けつけた(写真下左から1番目)。しかし店舗の再開はまだなんの展望も開けていない。

■7月7日~9日にかけて「東北復興祭」と銘打ったイベントが東京・汐留で行われ、大船渡・張英敏さんが「モランボン」の屋号で出店し焼肉のたれとドレッシングを販売した(写真下左から2番目)。店舗再開についてははまだ展望が見えない。

■釜石・咸民さんが7月15日、借家に入居した。4ヶ月の間借り生活に終わりを告げた。被災を免れた店舗は4月初旬に再開し幸いにも順調な営業状況との事。復興に向け日々奮闘中。

■6月中旬、大船渡・李昌衛氏が店舗「麒麟」再開。再建へと着実な歩みをはじめた。

■大船渡・朴東出さん新たな物件にて事業再開の工事着工。9月ごろの開業を目指す。

■大船渡・高浩映、昌映さん兄弟も新店舗での再開のため奔走しているがはまだ目途がついていない。末弟の武映さんは李参一氏が経営していたすし店「若大将」ブランドでの催事販売のため全国各地を巡っている。

※被災地は依然、大変です。長期的な支援が必要です。被災トンポを、仲間をみんなで支えましょう！



被災同胞女性慰労会

ヨメン本部は、7月9日、つなぎ温泉で被災同胞女性たちを招待し、慰労会を催した。忘れる事の出来ないあの3月11日、巨大地震と大津波により、一瞬にして大事なものを失った被災女性たちが、ほんのひとときでも温泉で身体を休め、心の安らぐ時間を過ごしてもらいたいとの思いから催された慰労会。 <がんばろう！ 一つの心で、共に突き進もう！>のスローガンを掲げ、ビデオ<大震災の記録>を鑑賞した。映像は、この度の震災で実に多くのものを失ったが、同時に私たちは、祖国のありがたさ、組織に団結した同胞社会の温かさや絆の強さを改めて再認識させてくれる。2部の宴会。抽選会とゲームや歌、踊りで宴会は盛り上がった。被災した沿岸地域女性たちは「温泉に浸かり、久しぶりにのんびり出来た」「とても楽しかった」と喜んでくれた。被災者たちは今、明日の生活の不安、そして暑さと悪臭、ハエと闘っている。これからも被災同胞と心はひとつだという事を忘れてはいけないことを再確認させられた。

いもじも掲示板

■「夏季ウリマル教室」

日時：8月1日（月）～5日（金）11時～13時
会場：北上市市民交流プラザ TEL0197-61-5716
対象児童：6歳～小6まで（受講料：無料）
連絡先：同胞センター TEL019-651-0810

■8・15 - 66周年盛岡支部同胞の集い

日時：8月6日（土）10：00～
場所：雫石町「葛根田河川公園」
会費：会費：2,000円
（高校生以下並びに70歳以上の方は無料）

■「オリニカップ」東北ハッキョチャリティゴルフコンペ

日時：9月2日（金）スタート予定 7：00
場所：西仙台カントリークラブ
参加費：10,000円（プレー費等は各自負担）
締切：8月12日、連絡先 019-651-0810 姜

■ウリ信北東北組合員ゴルフ大会

日時：9月8日（木）
場所：盛岡南GC
※詳細はウリ信の案内を参照

■『岩手同胞震災救援募金』にご協力を！

ウリ信用組合岩手支店
店番：005 口座番号：1034039

被災地だより-沿岸部の被災同胞の近況

一大槌-

- 河元一さん：仮設入居（7/12）
 - 柳政国さん：遠野市の借家で生活
- ### 一釜石-
- 咸民さん：民間住宅入居（7/15）
 - 朴克己さん：長男宅で避難、家改築工事待ち
 - 崔貴成さん：店舗再開、
 - 申永秋さん：避難所生活、仮設待ち
 - 金村英男さん：仮設入居（中妻町多目的グラウンド）
 - 文春行さん：盛岡市でアパート入居
 - 姜秀民さん：仮設入居（中妻町多目的グラウンド）

一大船渡-

- 朴東出さん：仮設入居（大船渡中学）、店舗着工
- 高浩映さん：店舗再開に向け奔走中
- 高武映さん：催事営業
- 張英敏さん：仮設入居（大船渡北小）
- 李守根さん：自宅、長女らと同居
- 李参一さん：事業再興模索中
- 佐藤道夫さん：事業再開

ドクター カンの 健康講座



第104回 『熱中症』

記録的な猛暑だった昨年は日本で5万人が熱中症で救急搬送され1600人の死亡者を出しました。そして今年の夏は原発事故での電力不足から節電が家庭にまで波及しエアコンなどを少し控えようとする人が多いと聞きます。今年もかなりの人が熱中症にかかる予想されます。

もう一度、熱中症のメカニズムを勉強しましょう。

真夏日などの暑い日やスポーツ、肉体労働で体温が上昇し大量の汗をかきます。水分や塩分を補給しないと脳などの重要な器官への血流を守るために逆に血管が収縮し熱の放出が困難となり熱中症になります。

特に65歳以上の高齢者は重症化しやすいのが特徴です。しかも高齢者は暑い日の外だけでなく屋内の日常生活のなかでも約半数ほど発症するのも特徴です。どうしてでしょうか。一般に高齢者は加齢によって体内の水分量が減少しており脱水を起こす危険性が高くなります。又温度の変化やのどの渇きを感じるセンサーが鈍くなり水分の摂取が不足しやすくなります。

気温だけでなく湿度も重要です。気温がそれほど高なくても湿度が高いと洗濯物と同じように汗をかいても蒸発できず熱がこもるからです。

どういう症状が大事でしょうか。

めまい、立ちくらみ、足の筋肉がつるなどの軽いサインはなかなか気がつきません。頭痛、吐き気、嘔吐、だるい、顔色が悪いなどの症状がでたら即治療が必要です。

予防は可能です。

3食しっかり食べて体力と水分を十分補給しておくこと。エアコン、扇風機をうまく活用し、換気もよくすること。暑い日の外出は極力避ける。水分の補給をこまめにする。イオン水は水より素早く体に吸収されます。自宅でも簡単に作れますよ。水1000cc、砂糖40g、塩3gを混ぜて冷やすだけです。イオン水は決して安くありませんので是非おすすめします。

夏を乗り切りましょう。

（協力：幸クリニック院長 姜幸一先生）

ヒムネジャ！岩手！